

令和4年度 事業報告

事業概況

我が国では、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい経済活動に対しても大幅な歯止めとなり、生活様式も一変しました。そのため全国のシルバー人材センターで会員拡大の取組として推進してきた「第2次会員100万人達成計画」についても多大な影響を受け、全国の会員数が令和4年11月の速報値で70万人を下回る事態となりました。

当センターでは、ショートメールサービスや会報の発行等による会員への情報提供や事業の普及啓発に努め、県ブランドのエアリーフローラ栽培を独自事業として、事業の強化を図り、会員の働き先確保に努めてきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、個人や民間企業の規模縮小等により請負実績は減少し、シルバー人材センターの基礎となる会員数についても、国の政策で定年が65歳まで延長され、年金支給開始も65歳以降となったことで、新規の入会者が極端に減少し、高齢や病気を理由とした脱退者が急増しました。

3月末で131名の会員登録となり、前年度同期より12名の減となりました。

会員の状況

(1) 男女別会員数 (令和5年3月31日現在)

男性89名 (67.9%) 女性42名 (32.1%) 合計131名

(2) 会員の入退会状況 (単位：人)

入会			退会			現在数		
男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
3	4	7	11	8	19	89	42	131

(3) 年齢階層別会員数及び構成比

区分	男性(人)	女性(人)	合計(人)	構成比(%)	前年度
60歳未満	0	0	0	0.0	0.0
60～64	4	2	6	4.6	4.9
65～69	13	7	20	15.3	19.6
70～74	38	14	52	39.7	42.6
75～79	26	11	37	28.2	24.5
80歳以上	8	8	16	12.2	8.4
合計	89	42	131	100.0	100.0

(4) 会員の就業実人員及び就業率

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
会員数	126	127	128	128	128	128	129	130	129	129	130	131	128.5
就業人員	38	66	85	91	93	81	81	81	81	81	85	94	79.8
就業率	30.2	52.0	66.4	71.1	72.7	63.3	62.7	62.3	62.7	62.7	65.3	71.8	62.1

※派遣を含む

(5) 会員の就業延べ人員

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延実人員	292	464	507	542	588	519	537	380	282	239	247	1382	498.3

※独自事業、派遣を含む

令和4年度業務執行状況報告

1. 令和4年度 事業報告

5月 監査、理事会、定時総会、安全適正就業推進委員会

監査、第1回理事会・定時総会並びに第2回理事会を開催し、新理事長に大岩慎一氏(現副町長)に決定する。

6月 会報「シルバー通信」の発行

定時総会の決議事項や会員の心得並びに作業の注意事項等の内容

7月 県シ連 安全・適正就業推進大会、安全パトロール

- ・県シ連の安全・適正就業推進大会には、山田理事、事務局長が出席する。
- ・委員や理事での安全パトロールは事務職員の交代もあり未実施となる。

8月 エアリーフローラ栽培(独自事業)の職業体験事業を実施

- ・男性4名の参加者は、独自事業の参加者となる。

9月 安全適正就業推進委員会

- ・未実施に終わる。

10月 ボランティア活動

- ・ちどり園及び周辺公園で開催。理事長も入り記念写真を撮る。

11月 会員募集広報活動

- ・11月中は、事務所前に会員募集の桃太郎旗を掲げ、事務所で相談等の対応をした。

12月 県シ連 安全・就業推進対策会議、門松作り、中間監査

- ・剪定の会員が門松づくりを実施しており、今年も役場庁舎前に門松を設置し、町長の激励を受けた。

1月 第3回理事会

- ・令和5年度の就業単価並びにインボイス制度に対する協議
- ・小学校統合により発生する空き校舎をシルバー人材センターの拠点施設として利用できるように要望書を町に提出

2月 安全適正就業推進委員会

- ・11月、12月と重大事故が発生したことにより安全・適正就業推進委員会を開催し、対策を協議する。
- ・会報「シルバー通信」を発行し、全会員に作業時の注意喚起を促す。

3月 第4回理事会

- ・令和5年度の事業計画及び予算の承認を得る。
- ・理事長3月末で辞任のため、対策を協議する。